

2019 年度  
一般社団法人 滋賀県作業療法士会  
定期総会 議案書

期 日：2019 年 6 月 2 日(日)

時 間：13 時 30 分～14 時 30 分

会 場：アクティ近江八幡

滋賀県近江八幡市鷹飼町南四丁目四番五号

電話 0748-38-0758

一般社団法人 滋賀県作業療法士会

事務局： 527-0145 東近江市北坂町 966  
(医) 恒仁会 近江温泉病院  
総合リハビリテーションセンター内  
TEL / FAX 0749 - 46 - 8128

## 総会次第

1. 開会のことば

2. 議長選出

3. 会長挨拶

4. 定足数報告

5. 書記任命

6. 議事録署名人の任命

7. 議案

第1号議案 2018年度事業報告

第2号議案 2018年度決算報告・監査意見書

第3号議案 役員選任

第4号議案 2019年度事業計画および予算案

第5号議案 その他の審議事項

8. 議長解任

9. 閉会のことば

## 第1号議案 2018年度事業報告

2018年度は、県士会で独自の事業の開始したものではなく、生涯教育システムや生活行為向上マネジメント(MTDLP)の推進など協会事業を滋賀県として行う事業の展開をそれぞれに行いました。

学術教育局では、引き続き生涯教育部の生涯教育の共通・選択研修の運営から、各普及部による研修会においてOTとしての知識・技術研鑽の場を提供しました。精神科分野や小児期分野の普及部は、勉強会も継続して取り組み会員同士の情報交換がされています。身障・老年期分野に関しては、研修会の開催で基礎的な学習や知見の提供を主に事業を進めました。身障・老年期の会員としては、今は地域包括ケアシステムの推進により専門性に特化するだけでなく生活行為向上マネジメントを通し幅広い活動を求められ、地域活動局の支部で行われた各種研修が役立つのではないかと考えています。また、第14回の県学会は、岩城学会長のもと大津・湖西支部の会員の方のご協力を頂き開催することができました。『地域とつながる作業療法』をテーマに他職種のパネラーの方から率直なOTに対する意見を伺え興味深いものでした。

公益事業局はMTDLPの普及推進、認知症対策、地域包括ケアシステム推進、運転と作業療法など、それぞれ協会が重点課題として取り組んでいることに関して担当窓口を担うと同時に、県内の状況に合った形での取り組みへと進めていきました。実際の活動では、広く会員にその内容に取り組んでもらえるよう地域活動局と連携し、支部レベルでの活動として行いました。臨床場面から求められることだけでなく、社会的な問題への取り組みから作業療法の可能性を広げ、作業療法士の役割を確固としたものにしていくことも重要な役割となってきました。しかし、支部での活動の中では会員数の偏りもあり対象会員を限定してしまうと運営的な部分での効率性に課題があげられました。

社会局は同時改定にともなう情報の伝達や会員からの問い合わせ対応を準備していたが、ほかの情報提供からの広報も迅速であり特に直接的に活用される状況ではありませんでした。近畿のバリアフリー展の窓口担当を兼ねているところから、県内でも「みとりフェス」や「健康しが」など他団体とコラボする活動への取り組みの在り方を探ってもきたところもあったといえます。

地域活動局は、前述に取り組みに加え、支部での啓発活動や行事への取り組みも継続して行い、県民の方はもちろんそれぞれの関係団体からも認識を深めてもらう機会となりました。しかし、事業にかかわることの増加と事業によっては内容やメンバーが固定化してしまい継続できていても一部の会員に負担をかける結果も招いても来ています。

事務局については、昨年度から引き続き役割の分担を進めるようその課題や対応策について検討を進めてきました。協会が「協会員＝士会員」に向け会員管理システムを変更していく作業中、士会としても将来的な事務局員の雇用や事務所の保有を念頭に論議しています。また、災害対策委員会も定期的な会合と各種団体の研修への参加を重ね、これまでの滋賀県JRATへの参画や災害対策への対応検討をすすめています。

最後に、昨年度は協会が厚労省からの委託事業として行った「介護ロボットニーズ・シーズ連携協調協議会設置事業」の取り組みで、滋賀県においても介護福祉士会、老人福祉施設協議会、介護老人保健施設協会、県立滋賀大学、企業関係、県産業支援プラザなどの協力により協議会を設置し協議を進めました。OTが中心となり産業、研究、行政関係の方たちと意見交換を行ったことは大きな成果でありました。(厚労省HPに3/28報告されています)

### 法人管理運営部門

#### 事務局(法人庶務・福利)

##### 1. 会議の開催及び運営

- ・2018年度定期総会の開催
- ・理事会の開催

|                |          |            |
|----------------|----------|------------|
| 2018年 4月17日(火) | アクティ近江八幡 | 事業計画・予算案検討 |
| 2018年 5月15日(火) | アクティ近江八幡 | 事業計画・予算案検討 |
| 2018年 7月17日(火) | アクティ近江八幡 | 事業報告・課題検討  |
| 2018年 9月18日(火) | アクティ近江八幡 | 事業報告・課題検討  |
| 2018年11月20日(火) | アクティ近江八幡 | 事業報告・課題検討  |
| 2019年 1月15日(火) | アクティ近江八幡 | 事業計画・予算案検討 |
| 2019年 2月12日(火) | アクティ近江八幡 | 事業計画・予算案検討 |
| 2019年 3月19日(火) | アクティ近江八幡 | 事業計画・予算案検討 |

##### 2. 会員の入退会等会員管理

- ・入会者 33名(新規31名, 転入2名)
- ・退会者 18名(県外異動等)
- ・2019年3月末時点の会員数 456名(休会12名)

3. 内外公文書管理
  - ・発信文書 94 件, 受信文書 398 件
4. 会計財務管理(財務部)
  - ・入会金・年会費の徴収・管理
  - ・各部局への予算配分
  - ・決算報告・監査意見書の作成
  - ・予算案の作成
  - ・源泉徴収税関連の管理
  - ・税理士への報告
5. 求人・求職情報管理(福利部)
  - ・求人情報収集 (10 月実施にて、各施設・各士会・養成校へ配布)
6. 各種関連団体との情報交換
  - ・**会議出席**： ※順不同
    - (1) 近畿作業療法連絡協議会：宮内会長ほか
    - (2) (一社) 日本作業療法士協会生涯教育推進班研修会：竹内理事
    - (3) (一社) 日本作業療法士協会 MDLP 推進委員会：推進委員 深津理事、小室委員
    - (4) 福祉用具センター運営委員会：委員 廣田理事
    - (5) 滋賀県リハビリテーション協議会会議：委員 石黒副会長
    - (6) 滋賀県多職種連携学会会議：実行委員 木岡副会長
    - (7) 滋賀県総合リハビリテーション推進会議：委員 石黒副会長
    - (8) 訪問リハビリテーション振興委員会 訪問リハビリ地域リーダー研修会：委員：石黒副会長、村上委員
    - (9) 教育研修事業推進部会：石黒副会長
    - (10) 滋賀県保健医療従事者研修会会議：石黒事務局長
    - (12) 滋賀県公衆衛生学会実行委員会 委員：木岡副会長
    - (13) 滋賀県 POS 連絡協議会：宮内会長、奥野理事、深津理事、廣田理事
    - (14) (一社) 日本作業療法士協会 認知症作業療法推進委員会：宮本委員長、宮部委員
    - (15) 運転と作業療法委員会指針説明会と情報法交換会：奥野理事
    - (16) 第 79 回国民体育大会・第 24 回全国障害者スポーツ大会滋賀県開催準備委員会：宮内会長
    - (17) 「健康しが」共創会議：木岡副会長
  - ・**式典出席**： ※順不同
    - (1) 滋賀県薬剤師会新年賀詞交歓会：宮内会長
    - (2) 第 38 回滋賀県病院協会大会開会式：宮内会長
    - (3) 2018 年度滋賀医療技術専門学校卒業式：宮内会長
  - ・**後援・共催**： ※順不同
    - (1) 第 33 回滋賀県理学療法学会大集会
    - (2) 地域リハビリテーション人材育成研修
    - (3) 第 10 回難病のつどい
    - (4) 第 4 回在宅医療他職種キャリアアップ研究会
    - (5) 第 3 回脳卒中市民公開講座
    - (6) 第 3 回滋賀県多職種連携学会研究大会
    - (7) 第 38 回滋賀県病院大会
    - (8) 滋賀高次脳機能障害リハビリテーション講習会
    - (9) バリアフリー・フィルム・パートナーズ
    - (10) 平成 30 年度 大津市医師会市民公開講座
    - (11) 第 10 回 健康フェスティバル 2019
7. 会員への各種情報連絡
  - ・2018 年度総会議事録および理事会議事録を広報誌「湖畔」に掲載
  - ・ホームページの見直しにて、一部改訂実施

- ・広報部とともに各種報告・連絡事項をFAX、LINE@、ツイッター、フェイスブックにより実施
- ・ホームページ、トップページの改定更新

#### 8. 会員間交流の促進(福利部)

- ・新入会員歓迎会

日時：2018年6月10日 場所：個室居酒屋 桜のなごみ 南草津駅前店  
内容：総会後の新入会員紹介と既会員との交流・情報交換の場の提供

#### 9. 市町事業への士会員の推薦

- ・守山市地域ケア個別会議の専門職(リハステーション守山:廣田岳尚)
- ・栗東市住宅改修適正化業務(ケアポート栗東:宮武恵、リハステーション守山:岡本理宏、廣田岳尚)

#### 10. その他事務管理業務

##### 選挙管理委員会

1. 役員改選に向けた管理業務。

##### 災害対策委員会

###### (1) 定例の委員会活動

- ① 日時：2018年6月28日 場所：滋賀医療技術専門学校  
内容：8月の研修会の打ち合わせ
- ② 日時：2019年1月10日 場所：滋賀医療技術専門学校  
内容：災害対策についての活動指針の打ち合わせ

###### (2) 研修会

- ① JIMTEF 研修会 (ベーシックコース)  
日時：2018年6月16、17日 場所：ニプロ医療研修施設 IMEP  
内容：岩田(豊郷病院)、前田・嶋川(滋賀医療技術専門学校)
- ② 災害対策委員への研修会  
日時：2018年8月18日 場所：滋賀医療技術専門学校  
内容：県士会委員会に対して、ベーシックコースの概要の講義開催。  
参加者：士会員9名参加
- ③ 滋賀県理学療法士会主催の災害対策研修  
日時：2018年10月20日 場所：草津市立まちづくりセンター  
内容：講義+HUGの体験。  
参加者：團孝災害対策委員長
- ④ 日本作業療法士協会主催災害研修  
日時：2018年11月4日 場所：日本作業療法士協会 事務局内  
内容：基本指針、保健師の役割、JRATの報告など。  
参加者：團孝災害対策委員長
- ⑤ 近畿作業療法士連絡協議会の災害対策メンバーでの会議  
日時：2019年1月13日 場所：大阪府作業療法士会 事務局内  
内容：近畿の各府、県士会の災害対策の情報共有。  
参加者：團孝災害委員長
- ⑥ 大阪府士会主催の災害対策研修  
日時：2019年1月27日 場所：UMEDAI 大阪梅田 会議室  
内容：大阪北部地震、岡山豪雨災害の振り返り。中村会長の報告など。  
参加者：團孝災害委員長
- ⑦ POS 合同の災害研修会  
日時：2019年2月16日 場所：滋賀県立総合病院 研修室  
内容：REHUGの研修。  
参加者：團孝災害対策委員長。災害委員1名
- ⑧ 京都 JRAT 立ち上げ記念式典への参加  
日時：2019年2月23日 場所：KKR 京都くに荘比叡

内容：京都 JRAT の立ち上げの会。

参加者：團孝災害対策委員長

### 表彰委員会

1. 一般社団法人日本作業療法士会及び、県内外よりの表彰推薦依頼への対応と検討  
・今年度は該当する士会員なし

### 倫理委員会

1. 会員の倫理問題に関する対応

### 規約委員会

1. 理事会運営規定等の不足している規約類の整備

## 公益目的事業部門

### 広報部

1. 広報誌『湖畔』発行：
  - (1)回数  
・年1回発行(9月19日発行)
  - (2)内容  
・新入会員紹介、総会報告、理事会報告、勉強会・研修会報告と案内、巻頭言(会員番号順に依頼)、つばやき、編集後記、会員異動変更届、地域活動局活動報告 等
  - (3)送付  
・送付：県士会員、関連団体、他府県士会、全国養成校
2. 広報誌保管  
・一社)滋賀県士会広報誌湖畔の原稿・印刷余分を保管  
・他団体広報誌の保管(平成27・28・29年度分)
3. ホームページ  
・一部内容の見直し。(ホーム画面に「イベントカレンダー」追加)  
・研修案内など随時内容の更新について、各部局に広報委員の設置を依頼しフェイスブックなど活用した今後タイムリーな情報発信を開始
4. その他  
・他府県士会、関連団体からの会報の紹介、閲覧(滋賀県作業療法学会時)  
・部会の開催  
・発送作業

### 学術教育局

1. 身障老年期分野普及部
  - (1)研修会
    - ①「車椅子に関するシーティング・ポジショニングと事故防止対策」  
講 師：辻村 肇 氏(鳥取市医療看護専門学校)  
日 時：2018年8月12日 場所：野洲病院 講義室  
参加者：15名
    - ②「スプリントの作成とケース検討」  
講 師：寺井 淳(滋賀医療技術専門学校)  
日 時：2018年9月28日 場所：野洲病院  
参加者：16名
    - ③「Ⅰ. 手・肘・肩関節のハンドセラピィの留意点Ⅱ. スプリントを早く作製するための方法とコツ」  
講 師：西出 義明 氏(もり整形外科・リウマチ科クリニック)  
日 時：2018年12月02日 場所：フェリエ南草津  
参加者：会員15名 他府県1名
    - ④「なるほど！知って得する車椅子シーティングの基礎と実際」  
講 師：河島 克彦 氏(東近江市役所)  
日 時：2019年3月09日 場所：コミュニティセンターやす  
参加者：9名

## 2. 小児期分野普及部

### (1) 研修会

- ① 「特別支援教育と作業療法士の関わり～作業療法士にできること～」  
講 師：中路 純子 氏(フリーランス)  
日 時：2018年11月10日 13:00～16:00 場所：びわこ学園医療福祉センター草津  
参加者：11名
- ② 「発達障害分野における生活行為向上マネジメント評価と治療実践について」  
講 師：木瀬 憲司 氏(生活行為向上マネジメント担当理事 ボバース記念病院)  
日 時：2019年1月19日 10:00～16:30 場所：びわこ学園医療福祉センター野洲  
参加者：13名

### (2) 発達・障害分野に関わるネットワークづくり

- ① 勉強会
  - ・「滋賀県内における特別支援教育等に関わるケース検討会」  
放課後等デイサービス事業所よりケースを提供頂いた
  - ・各圏域での勉強会を開催。1回目として2月甲賀圏域での勉強会を実施。PT・OT合わせて18名の参加があった。
- ② メーリングリスト  
多職種に拡大し参加者を募った

## 3. 精神分野普及部

### (1) 研修会

- ① 「生活に戻すための医療・介護マネジメント～30年同時改正のポイントを踏まえて～」  
講 師：櫃本 真津 氏 (四国医療産業研究所 所長)  
日 時：2018年6月2日 14:40～16:10 場所：NIPRO(ニプロ：南草津)  
参加者：70名
- ② 「精神科作業療法における他職種連携の技術」  
講 師：作業療法士 京極 真 氏(吉備国際大学 保健医療福祉学部作業療法学科 准教授)  
日 時：2018年8月11日 14:00～16:00 場所：滋賀医療技術専門学校  
参加者：19名

### (2) 勉強会

- ① 4/12 「各病院施設の現状や課題を話し合う」 参加者：10名
- ② 5/11 「マスターOTについて」 参加者：16名
- ③ 6/3 就労移行支援事業所の見学 参加者：7名
- ④ 7/12 「マスターOTについてのまとめ」 参加者：5名
- ⑤ 9/16 「事例検討：自己能力を過小評価する傾向に焦点を当てた関わり」 参加者：13名
- ⑥ 10/11 「インフォームドコンセントの研究」「臨床実習における指導者の言語活動の研究」 参加者：5名
- ⑦ 11/8 「事例検討：IPS～精神障害者の「働きたい」にどう向き合うか～」 参加者：18名
- ⑧ 12/13 「各病院施設の現状と課題を話し合う」 参加者：5名
- ⑨ 1/19 「事例検討：長期入院患者への他者に喜んでもらう「作業」を通じた関わり」 参加者：18名
- ⑩ 2/5 「インフォームドコンセントのアンケート結果について」 参加者：6名
- ⑪ 3/15 「学習について」 参加者：15名

## 4. 生涯教育部

### (1) 生涯教育部研修会の開催

#### ① 現職者共通研修の開催

日時：2018年9月9日(日) 会場：市立大津市民病院9階会議室

- |                |                           |         |
|----------------|---------------------------|---------|
| ・職業倫理          | 講師：木岡 和実(滋賀医療技術専門学校)      | 参加者 28名 |
| ・実践のための作業療法研究  | 講師：中井 秀昭(滋賀県健康医療福祉部)      | 参加者 25名 |
| ・保健・医療・福祉と地域支援 | 講師：岡本 理宏((明尚)リハビリテーション守山) | 参加者 26名 |
| ・事例報告と事例研究     | 講師：川島 公子(滋賀八幡病院)          | 参加者 26名 |

日時：2018年11月11日(日) 会場：近江八幡市立総合医療センター 2階会議室

|                  |                         |         |
|------------------|-------------------------|---------|
| ・作業療法における協業・後輩育成 | 講師：嶋川 昌典(滋賀医療技術専門学校)    | 参加者 26名 |
| ・日本と世界の作業療法の動向   | 講師：岩根 隆宏(市立長浜病院)        | 参加者 26名 |
| ・作業療法の可能性        | 講師：野口 勇樹(甲賀市水口医療介護センター) | 参加者 25名 |
| ・作業療法生涯教育概論      | 講師：竹内 貴記(市立大津市民病院)      | 参加者 26名 |

② 現職者共通研修「事例検討」、「事例報告」

日時：2019年1月13日(日) 会場：近江八幡市立総合医療センター 2階会議室  
参加者：事例発表者7名、事例検討9名

③ 現職者選択研修・老年期領域

日時：2018年12月16日(日) 会場：市立大津市民病院 大会議室

|                 |                      |         |
|-----------------|----------------------|---------|
| ・老年期の基礎知識       | 講師：竹内 貴記(市立大津市民病院)   | 参加者 11名 |
| ・老年期作業療法の治療的枠組み | 講師：竹内 貴記(市立大津市民病院)   | 参加者 11名 |
| ・地域生活の支援        | 講師：前田 浩二(滋賀医療技術専門学校) | 参加者 11名 |
| ・老年期作業療法のトピックス  | 講師：小室 雅紀(祐森クリニック)    | 参加者 11名 |

④ 現職者選択研修・MTDLP基礎研修会

日時：2018年8月5日(日) 会場：大津市民病院 参加者 23名  
講師：小室雅紀(祐森クリニック)

⑤ 現職者選択研修・老年期領域

日時：平成30年12月16日(日) 会場：市立大津市民病院 大会議室

|                 |                      |         |
|-----------------|----------------------|---------|
| ・老年期の基礎知識       | 講師：竹内 貴記(市立大津市民病院)   | 参加者 11名 |
| ・老年期作業療法の治療的枠組み | 講師：竹内 貴記(市立大津市民病院)   | 参加者 11名 |
| ・地域生活の支援        | 講師：前田 浩二(滋賀医療技術専門学校) | 参加者 11名 |
| ・老年期作業療法のトピックス  | 講師：小室 雅紀(祐森クリニック)    | 参加者 11名 |

⑥ 現職者選択研修・MTDLP基礎研修会

日時：平成30年8月5日(日) 会場：大津市民病院 参加者 23名  
講師：小室 雅紀(祐森クリニック)

5. 第14回滋賀県作業療法学会の開催

日時：2018年11月4日(日)10:00~16:00 会場：コラボしが21  
学会長：岩城 千春(琵琶湖中央病院)  
テーマ：「地域とつながる作業療法」～急性期・回復期から見える作業行為とは～  
参加者：会員84名、非会員：12名

6. 第15回滋賀県作業療法学会の準備

**公益事業局**

1. MTDLPの推進にかかわる取り組み

基礎研修修了者：239名・・・(52%)

実践者研修修了者：103名・・・(23%)

①基礎研修：生涯教育部と共催 1回/年

・2018年8月5日(日) 会場：大津市民病院 参加者：22名

②実践者研修：地域活動局と共催 (公益収支報告)1回 各圏域/年

三士会県委託事業(圏域地域リハビリテーション支援事業)への協力と協働  
各地域活動局と協働し、計6回の実践者研修を実施 16名の実践者養成

※参加者数は地域活動局報告を参照

- ・(湖北湖西) 2018年 4月15日(日) 会場：臨湖
- ・(東近江) 2018年 5月14日(月) 会場：近江温泉病院
- ・(大津) 2018年 7月28日(土) 会場：大津市民病院
- ・(甲賀) 2018年10月13日(土) 会場：公立甲賀病院
- ・(湖南) 2019年 2月 6日(水) 会場：野洲病院

- ・(東近江) 2019年2月20日(水) 会場: 近江温泉病院
- ・(湖東) 中止
- ③近畿連絡協議会: 要請に応じて会議・研修会運営参加
  - ・平成30年9月2日(日) 近畿連絡協議会MTDLPアドバンス研修 会場: 大津市民病院 参加者: 13名
- ④指導者不足に向けた取り組み
  - ・相談窓口開設 等
- ⑤全国MTDLP推進会議への出席
  - ・2018年5月12日(土): 出席者2名

## 2. 認知症対策に係る取り組み

- ①認知症専門研修(アップデート研修)の開催
  - ・2018年8月26日(日) 会場: アクティ近江八幡 参加者16名
  - ・2019年1月27日(日) 会場: フェリエ南草津市民交流センター 参加者17名
- ②認知症対策部会チームミーティング
  - ・2018年4月27日、場所: 滋賀八幡病院
  - ・2018年6月22日、10月24日、3月 場所: 寿寿ハウス
- ③認知症家族の会滋賀県支部との懇談
  - ・2018年7月28日(土) 会場: ライズヴィル都賀山 出席者4名
- ④認知症担当近畿連絡協議会ミーティングへの出席
  - ・2018年4月14日、9月22日、2019年2月16日
- ⑤認知症担当近畿連絡協議会研修会への出席
  - ・研修会2018年12月1日、会場: 大阪 出席者10名

## 3. 地域包括ケア推進に係る取り組み

- ①地域包括ケア推進委員会の取り組み
  - ・三士会県委託事業(圏域地域リハビリテーション支援事業)への協力と協働。  
市町行政事業からの依頼に応えられる人づくり、派遣の体制整備、県下における情報共有を推進すべく、地域包括ケア推進プロジェクト委員会を発足。これに伴い全9回のPOSコア会議への参加と、OT協会地域ケア会議日常生活支援総合事業人材育成研修、地域活動局支部長会議への参加、地域リハ窓口業務、視察、滋賀県立リハビリテーションセンターとの意見交換を行った  
プロジェクト委員: 廣田 岳尚((明尚)リハビリテーション守山)
- ②人材育成
  - ・地域のニーズに応じた研修会の開催、MTDLP研修会の開催: 地域活動局に委託

## 5. その他

- ①滋賀県訪問リハビリテーション実務者研修会の開催
  - 三士会県委託事業(圏域地域リハビリテーション支援事業)への協力と協働
  - ・2018年5月19日(土)、20日(日)全国訪問リハビリリーダー研修 参加者2名  
日 時: 2019年1月19日(土)、20日(日)場所: 近江八幡市立総合医療センター よしぶえホール  
参加者: 50名(内OT 13名)  
テーマ: 制度改定下での訪問リハビリテーション…その現状  
内 容: 全国訪問リハビリテーション地域リーダー会議報告  
平成30年度制度改正に沿った訪問リハの実践  
改定後の訪問リハの現状と今後の課題グループワーク  
「在宅かかりつけ医師との連携～地域とつながるリハビリテーション」  
「リハビリテーションとリハビリテーション栄養 リハビリテーション医からみた訪問リハビリ」  
事例検討とグループワーク  
講 師: 花戸 貴司 氏(永源寺診療所)  
平田 知大 氏(公立甲賀病院) 他

## ②運転と作業療法特設委員会

- ・運転と作業療法特設委員会による研修会の開催  
日時：2018年7月28日 場所：南草津フェリエ 参加者：22名  
日時：2018年8月25日 場所：臨湖 参加者：13名  
内容：自動車運転支援概論、自動車運転に関わる関係法令、免許センター・教習所との連携、DSデモ体験等  
特設委員会から配布されている自動車運転支援に関する「作業療法士の基本的考え」を中心に講義を開催  
講師：奥野 隆司 (近江温泉病院)  
谷口 佳男 氏(八日市自動車教習所)
- ・滋賀県自動車運転連絡協議会  
今年度は会議未開催。来年度開催予定

## 社会局

### 1. 情報の収集および提供

- ①(社)日本作業療法士協会(以下、協会)やその他機関や団体などから提供される情報を集約し広報誌「湖畔」やホームページなどを利用して会員に情報提供した
- ②会員からの問い合わせに対応した

### 2. 現状の把握および調整

- ①各種制度改正に伴う現状把握と協会などに提言を行う必要があれば会員に対して実態調査を実施する。
- ②協会などから依頼された調査の実施と集約を行った

### 3. その他

- ①各種情報収集した情報は、ホームページ等により情報発信
- ②近畿作業療法士連絡協議会関連  
「バリアフリー展2018」相談コーナーの相談員として当士会から会員6名を派遣  
内容：相談コーナーでの相談員、作業療法および作業療法士の啓発活動  
日時：平成30年4月19日(木)～21日(土) 場所：インテックス大阪  
協力者：川口幸、宮本昌寛、北川夕子、乙川亮、松本美穂子、中井秀昭

## 地域活動局

### (1) 甲賀支部

- ①ブロック会議 合計5回(4月19日、6月14日、10月18日、12月20日、2月20日)
- ②生活行為向上マネジメント事例検討会  
日時：2018年10月13日 場所：甲賀病院 研修室3  
参加者：15名(内発表者2名)
- ③認知症初期集中支援チーム情報収集
- ④啓発活動
  - ・まんが作業療法を10冊購入圏域施設配布
  - ・甲賀病院フェスティバル  
日時：2018年10月27日 場所：甲賀病院  
内容：協会パンフレット、クリアファイルを50部配布

### (2) 大津支部

- ①定例会議(5月18日、9月21日、10月19日、11月8日「ほかほか祭り準備用」)
- ②ほかほか祭り(大津市主催)  
日時：2018年12月9日(日) 場所：大津市障害者福祉センター  
参加者：前日準備含め大津支部より10名

内容：ブース出展

③生活行為向上マネジメント事例報告会

日時：2018年7月28日(土)生活行為向上マネジメント事例報告会

④滋賀県OT学会への協力、参加

(3)湖西支部

①高島市民病院祭り

日時：2018年10月13日(土) 場所：高島市民病院

内容：市民向け公開イベント。ブース出展、スタッフ2名参加

②高島まるごと介護予防祭り

日時：2018年12月2日(日)場所：安曇川公民館

内容：介護予防についての指導・相談、地域でのOT紹介、健康チェック・体操など  
スタッフ10名参加

③高島高校キャリアデザイン事業

日時：2018年9月20日 場所：高島高校

内容：高校生に向けた仕事内容の説明

④定例会議 2019年5月24日

(4)湖北支部

①MDLP実践者研修会 (湖西支部と合同開催)

日時：平成30年4月15日(日) 場所：臨湖

事例発表3名

②いきいき健康フェスティバル2018

日時：平成29年5月20日(日) 場所：長浜バイオ大学

参加者：450名

③三士会県委託事業(圏域地域リハビリテーション支援事業)への協力

・湖北ブロック地域包括ケア研修会

日時：平成30年11月16日(金)

内容：「ポジショニングの基礎を学ぶ」

講師：河島克彦 先生(東近江市福祉総合支援課 理学療法士)

(5)湖東支部

①30年度 リハ職の地域をつなぐバトン事業での講座

日時：2018年6月

②生活行為向上マネジメント事例報告会

発表者不足のため中止

③支部会議(5回開催)

④豊郷病院 看護の日 啓発活動

日時：平成29年5月 場所：豊郷病院

内容：OT啓発活動、パンフレット配布、OT作品展示、体験コーナー

⑤研修会開催

日時：2018年10月26日(日) 場所：彦根市立病院

講師：中井秀昭氏(滋賀県健康医療福祉部健康寿命推進課)

内容：地域包括ケアシステム、生活期を見据えたOT

講師：嶋川昌典氏(滋賀医療技術専門学校)

日時：2019年1月26日(日) 場所：彦根市立病院

内容：マスターOTについて

(6)東近江支部

①「作業療法へのいざない」：小中高校生他を対象に

日時：2018年8月19日～26日 場所：能登川博物館

内容：「人は作業をすることで元気になれる」実践エピソードパネル・作品展示と講演会

②東近江リハビリテーション風船バレーボール大会開催

日時：2018年10月27日(土) 場所：東近江市立布引体育館メインアリーナ

参加者：東近江圏域内の病院、通所リハ・通所介護事業所、老人保健施設、介護療養医療施設等の利用者  
選手対象に風船バレーボール大会を開催。

③お仕事フェスタ

日時：2018年11月3日(土) 場所：竜王ドラゴンハット

内容：小中学生に向けたOTの仕事紹介。皮細工を通じた体験学習。パンフレット配布。

④定例会議(6回開催)

⑤土会県委託事業(圏域地域リハビリテーション支援事業)への協力

・POS 東近江ブロック「東近江リハビリフェスタ2017」

場所：八日市アピア セントラルコート

内容：OT啓発活動、脳トレ体操、ポスター展示、自助具紹介、作業活動紹介、サロン等

⑥公益事業局・MTDLP 事例検討会の開催

日時：第一回2018年4月14日、第二回2019年2月20日

場所：近江温泉病院

(7) 湖南支部

①MTDLP 実践者研修会の開催

日時：2018年2月6日(水) 場所：野洲病院

②定例会議(参加者：12人)

(8) その他

①みとりフェス

日時：2019年2月3日(日) 場所：草津イオンモール

参加スタッフ：3名(近江温泉病院、近江八幡市立総合医療センター)

内容：滋賀県作業療法士会ブース出展。パンフレット配布。

②健康しが2019

日時：2019年2月16日(日) 場所：草津イオンモール

参加スタッフ：3名(近江温泉病院、大津市民病院、済生会守山病院)

内容：滋賀県作業療法士会ブース出展。パンフレット配布

③支部長会議

年4回開催

## 第2号議案 2018年度決算報告・監査報告書

### 2018年度決算報告（部局別報告）

（単位：円）

| 勘定科目                                  |                 | 2018年度予算額        | 2018年度決算         | 比較増減             | 備 考   |
|---------------------------------------|-----------------|------------------|------------------|------------------|---|
| 大科目                                   | 小科目             |                  |                  |                  |   |
| <b>I 事業活動収支の部</b>                     |                 |                  |                  |                  |   |
| <b>1. 事業活動運用収入</b>                    |                 |                  |                  |                  |   |
| 会 費 収 入                               |                 | ( 2,670,000 )    | ( 2,568,000 )    | ( △ 102,000 )    | 428*6000  |
| 入 会 金 収 入                             |                 | ( 30,000 )       | ( 34,000 )       | ( 4,000 )        | 34名   |
|                                       |                 | ( 995,000 )      | ( 817,500 )      | ( △ 177,500 )    |   |
| 事業収入                                  | 生涯教育部研修収入       | 260,000          | 353,000          | 93,000           | 共通研修参加費   |
|                                       | 精神分野研修収入        | 100,000          | 123,500          | 23,500           | 研修会参加費  |
|                                       | 小児期分野研修収入       | 20,000           | 37,000           | 17,000           | 研修会参加費  |
|                                       | 身障老年期分野研修収入     | 80,000           | 73,000           | △ 7,000          | 研修会参加費  |
|                                       | 地域活動事業収入        | 35,000           | 0                | △ 35,000         |   |
|                                       | 公益事業局           | 380,000          | 70,000           | △ 310,000        | 研修会参加費等   |
|                                       | 滋賀県学会収入         | 120,000          | 161,000          | 41,000           |   |
|                                       |                 | ( )              | ( 35,000 )       | 35,000           |   |
| 雑 収 入                                 | 受 取 補 助 金       |                  | 35,000           | 35,000           | 補助金（お仕事フェスタ30000 風船ハレ5000）  |
|                                       | 受 取 寄 付 金       |                  | 0                | 0                |   |
| 受 取 利 息 ( D )                         |                 |                  | 7                | 7                |   |
| <b>事業活動収入合計 ( A )</b>                 |                 | <b>3,695,000</b> | <b>3,454,507</b> | <b>△ 240,493</b> |   |
| <b>2. 事業活動運用支出</b>                    |                 |                  |                  |                  |   |
| <b>(1) 法人管理運用部門</b>                   |                 |                  |                  |                  |   |
| (1) 法人管理運用部門                          |                 | ( 1,536,000 )    | ( 1,542,653 )    | ( 6,653 )        |   |
| 法 人 庶 務 支 出                           |                 | 1,536,000        | 1,542,653        | 6,653            | 旅費交通費、会議費、通信費、交際費、貸借費、消耗品費、租税公課、近畿学会拠出金、税理士諸費用、印刷製本費、講師謝金、保険料、親睦会補助（各委員は理事会後にて法人庶務にて支出） |
| <b>(2) 事業費支出</b>                      |                 |                  |                  |                  |   |
| (2) 事業費支出                             |                 | ( 2,090,820 )    | ( 1,926,619 )    | ( △ 164,201 )    |   |
| 広 報 部 活 動 費                           |                 | 350,000          | 351,953          | 1,953            | 会議、旅費交通費、広報誌関連事業費、ホームページ他   |
| 学 術 教 育 局 活 動 費                       | 学 術 教 育 局 活 動 費 | 964,820          | 825,619          | △ 139,201        | 会議、旅費交通費、研修会等事業費他   |
|                                       | 身障老年分野          | 80,000           | 72,353           | △ 7,647          |   |
|                                       | 精神分野            | 120,720          | 95,397           | △ 25,323         |   |
|                                       | 小児期分野           | 20,000           | 28,532           | 8,532            |   |
|                                       | 生涯教育制度          | 183,000          | 200,328          | 17,328           |   |
|                                       | 事業部学会           | 413,100          | 336,797          | △ 76,303         |   |
| 庶務部                                   | 148,000         | 92,212           | △ 55,788         |                  |   |
| 公 益 事 業 局 活 動 費                       |                 | 350,000          | 521,102          | 171,102          | 会議、旅費交通費、研修会等事業費他   |
| 社 会 局 制 度 対 策 活 動 費                   |                 | 46,000           | 0                | △ 46,000         |   |
| 地 域 活 動 局 活 動 費                       |                 | 380,000          | 227,945          | △ 152,055        | 各支部合計   |
| 予 備 費                                 |                 | 600,000          | 0                | △ 600,000        |   |
| <b>事業活動支出計 ( B )</b>                  |                 | <b>4,226,820</b> | <b>3,469,272</b> | <b>△ 757,548</b> |   |
| <b>事業活動収支差額 ( C ) = ( A ) - ( B )</b> |                 | <b>△ 531,820</b> | <b>△ 14,765</b>  | <b>517,055</b>   |   |
| <b>当期収支差額 ( D ) = ( C )</b>           |                 |                  |                  |                  |   |
| 当期収支差額 ( D ) = ( C )                  |                 | △ 531,820        | △ 14,765         | 517,055          |   |
| <b>前期繰越収支差額 ( E )</b>                 |                 |                  |                  |                  |   |
| 前期繰越収支差額 ( E )                        |                 | 2,195,651        | 2,195,651        | 0                |   |
| <b>次期繰越収支差額 ( F ) = ( D+E )</b>       |                 |                  |                  |                  |   |
| 次期繰越収支差額 ( F ) = ( D+E )              |                 | 1,663,831        | 2,180,886        | 517,055          |   |
| <b>法人税、住民税及び事業税</b>                   |                 |                  |                  |                  |   |
| 法人税、住民税及び事業税                          |                 | 50,000           | 50,000           |                  |   |
| <b>当期純収支差額 (当期純損失金額)</b>              |                 |                  |                  |                  |   |
| 当期純収支差額 (当期純損失金額)                     |                 | △ 581,820        | △ 64,765         |                  |   |
| <b>次年度繰越</b>                          |                 |                  |                  |                  |   |
| 次年度繰越                                 |                 | 1,613,831        | 2,130,886        | 517,055          |   |

## 監 査 意 見 書

一般社団法人 滋賀県作業療法士会  
会長 宮内吉則 様

意見書作成日 2019年 5月 8日

一般社団法人 滋賀県作業療法士会

監 事 金子明美 

監 事 加藤郁子 

- I. 私達は2018年度の一般社団法人滋賀県作業療法士会の財務諸表、すなわち、現金出納帳簿関係について監査し、それを基礎として一般社団法人 滋賀県作業療法士会の財務及び理事の業務執行状況を監査いたしました。
- II. 財務諸表の監査にあたっては、私達が必要と認めた監査手続きを実施いたしました。
- III. 監査の結果、私達は上記財務諸表が一般社団法人滋賀県作業療法士会の2018年度末現在の状態及び2018年度の収支状況を適正に表記しているものと認めます。  
また、一般社団法人滋賀県作業療法士会の財務と理事の業務状況は、ともに良好かつ適正であると認めます。

上記の通り、監査の意見を報告します。

以上

## 第3号議案 役員選任

### I. 選挙管理委員報告

一般社団法人滋賀県作業療法士会役員の選出に伴い2019年4月1日に選挙公示を行い、2019年5月2日に立候補の受付を終了。結果、候補者を報告。理事会において承認された。

#### 立候補者

理事：宮内吉則、石黒望、木岡和実、加藤智志、深津良太、奥野隆司、宮本昌寛、竹内貴記、横田治、青野豪、  
中井秀昭、宮武恵、小室雅紀、野口勇樹、小野邦明

監事：加藤郁子、渡邊和湖

### II. 平成2019.2020年度役員体制（案）

新理事による理事会開催、会長に宮内吉則氏、副会長に木岡和実・石黒望、専務理事に宮本昌寛を推薦、その他各理事の各役員への任命。また、理事以外の各部局部長等についての会員よりの任命についても提案。

|      |      |   |
|------|------|---|
| 会長   | 宮内吉則 | (滋賀県済生会 訪問看護ステーション)                               |
| 副会長  | 木岡和実 | (滋賀医療技術専門学校)：福祉用具担当部門理事                           |
| 副会長  | 石黒 望 | (近江温泉病院)：広報担当理事、災害対策担当理事                          |
| 事務局長 | 加藤智志 | (近江温泉病院)  |
| 専務理事 | 宮本昌寛 | (滋賀県立リハビリテーションセンター支援部)：特設委員会 地域包括ケア推進委員会担当理事      |
| 常務理事 | 宮武 恵 | (ケアポート栗東)：特設委員会 認知症対策委員会担当理事                      |
| 常務理事 | 深津良太 | (リハビリセンターあゆみ)：特設委員会 MTDLP 推進委員会担当理事/訪問リハ実務者研修担当理事 |
| 常務理事 | 奥野隆司 | (近江温泉病院)：地域活動局局长、特設委員会 運転対策委員会担当理事                |
| 常務理事 | 青野 豪 | (滋賀八幡病院)：学術教育局局长、県学会担当理事                          |
| 常務理事 | 竹内貴記 | (市立大津市民病院)：生涯教育担当理事                               |
| 常務理事 | 中井秀昭 | (滋賀県健康医療福祉部健康寿命推進課)：社会公益局局长                       |
| 常務理事 | 横田 治 | (滋賀八幡病院)：地域活動局 東近江担当                              |
| 常務理事 | 小室雅紀 | (森クリニック)：地域活動局 大津・湖西担当                            |
| 常務理事 | 野口勇樹 | (水口医療介護センター)：地域活動局 湖南・甲賀担当                        |
| 常務理事 | 小野邦明 | (彦根中央病院)：地域活動局 湖北・湖東担当                            |
| 監事   | 渡邊和湖 | (あうとりーち和泉)  |
| 監事   | 加藤郁子 | (県立精神医療センター)                                      |

#### 各局部長

##### 事務局

|             |       |              |           |           |              |
|-------------|-------|--------------|-----------|-----------|--------------|
| 庶務部長        | 瀧沢幸美  | (近江温泉病院)     | 財務部長      | 鈴木耕平      | (滋賀医療技術専門学校) |
| 広報部長        | 川島 健  | (セフット病院)     | 福利部長      | 小野邦明      | (彦根中央病院)     |
| 規約委員会 委員長   | 嶋川昌典  | (滋賀医療技術専門学校) | 倫理委員会 委員長 | (石黒副会長兼務) |              |
| 災害対策委員会 委員長 | 團孝圭太  | (滋賀県障害児協会)   | かいっぷり診療所  |           |              |
| 選挙管理委員会 委員長 | 今井真梨子 | (済生会訪問看護)    | 表彰委員会 委員長 | (会長兼務)    |              |

##### 学術教育局

|               |      |                |
|---------------|------|----------------|
| 身障老年期分野普及部 部長 | 岡本裕一 | (野洲病院)         |
| 小児期分野普及部 部長   | 加納雪絵 | (やまびこ総合支援センター) |
| 精神分野普及部 部長    | 嶋川昌典 | (滋賀医療技術専門学校)   |

##### 地域活動局

|        |      |              |       |      |           |
|--------|------|--------------|-------|------|-----------|
| 大津支部長  | 真下勝行 | (琵琶湖中央病院)    | 湖西支部長 | 小多裕之 | (今津病院)    |
| 湖南支部長  | 守屋篤志 | (南草津病院)      | 甲賀支部長 | 上野道広 | (水口病院)    |
| 東近江支部長 | 中川 響 | (近江八幡医療センター) | 湖東支部長 | 三嶋敏光 | (アロワエン彦根) |
| 湖北支部長  | 前田英功 | (長浜赤十字病院)    |       |      |           |

## 第4号議案 2019年度事業計画及び予算案

作業療法、作業療法士の地域での活動や他職種との連携など活躍の幅の広がりは求められています。そうした期待に応えられるよう協会はもちろん、県士会も作業療法士の質の担保をすることが重要な役割だと考えています。身近で最新の知識、情報に触れられる環境を維持・改善していかなければなりません。協会レベルでは、免許の更新制を話題にすることもありますが、実際に指定規則の改定があり学校教育・臨床実習の在り方が変わろうとしています。それに伴い卒後教育のあり方が変わって行きます。県士会においてもそれぞれの教育機関、各事業所などと関係を深め理学療法士会、言語聴覚士会とも連携し様々な形での会員にとって必要な知識や技術を磨いてもらう場を作り、個々が努力した事が目に見えてわかるようなものに変えていかないといけないと思っています。そうしたことの中心となるのが学術教育局で、中期的には生涯教育から始まり各普及部での活動を充実させていき、その進展から県学会、近畿学会などにつながるよう今一度企画や内容を検討しながら事業を進めていきたいと考えています。

また、今年度から公益活動局として行っていた MTDLP の推進、認知症対策、地域包括ケア推進を特設委員会として位置づけ、これまでの運転と作業療法特設委員会、訪問リハビリ推進委員会、福祉用具対策委員会など 6 つの特設委員会を組織します。それぞれ協会とのパイプを持ちながら、県士会としての取り組み方の検討を行いやすいよう担当理事を置き、理事会でも常にその情報を共有できるように仕組みづくっていきます。

それに伴い、これまでの社会局の役割をより社会活動への参画を強く意識づけ、さまざまな現状調査はもちろん、今後の滋賀県での健康づくり活動や県民に広く作業療法の有用性を提供できる形を検討していく部分を担えるよう組織づくりを進めていきます。そうした一つとして、今年度は県からの「医療・介護分野における農業との連携による地域実践事例発信事業」の委託を考えています。

地域活動局はそれぞれの支部の実情に合わせこれまでも活動を実践してきました。今後も国から県、そして市町村へと事業が降ろされているように、協会から県士会、そして支部へと OT の活動の取り組みも住民の方の細かなニーズに応えようとすると、市町村自治体との連携からそうした形になるかとは思いますが、しかし、逆にそうした形になっていくと違いが大きくなりすぎ、個々の会員にかかる負担の違いも生じてきます。ある程度近くの会員相互の連携が取れる関係は維持していきたいと思っています。現状として今の 7 支部での活動をメインとしてより支部同士や理事会との関係性の強化していくために局長・副局長 2 名だけでなく、新たに 3 名の理事を加え 1 名の局長と 4 名の支部担当の副局長をおきその体制強化に努めていきたいと考えています。

事務局は、引き続き業務の分担や簡素化する方向での検討を行っていきます。そのなかで今年度は会費徴収の方法を払込みの手配から徴収まとめまでを業者委託し、コンビニなどでの払込みも含めた収金代行サービスの導入を検討していきます。また、県士会の活動を維持していくための理事会、部局、委員会での会議に対して、これまで交通費のみの支給で対応していましたが、今回旅費規定を見直し日当の支給を検討しています。これにより予算案においても、昨年度の会議開催の実績をもとに日当支給の予算を組みこんでいます。今年度予算としては赤字決算で繰越金からの支出を必要とします。そのため来年度に向けては、それぞれの事業と予算内容を検討し支出の抑制を図るとともに、会費を含めた財源の確保の検討は必須の課題となります。しかし他各事業の推進・維持のためにも、また同様な事業を行っている他団体との関係性からも旅費規程の改定は実施したいと考えています。

今年度の第 15 回県学会は、11 月 3 日(日)に本田学会長のもと湖南支部の担当で開催予定しています。また、近畿学会は 6 月 30 日(日)に兵庫県士会主催で開催されます。来年は滋賀県の開催となり、天田学会長のもと宮武実行委員長、横田事務局長を中心に実行委員会を組織しています。今後会員の皆さまのご協力を広くいただいくことになると思いますがよろしくお願いたします。

### 法人管理運営部門

#### 事務局(法人庶務・福利)

##### 1. 会議の開催及び運営

- ・ 2019 年度定期総会の開催
- ・ 理事会の開催

|                     |          |            |
|---------------------|----------|------------|
| 2019 年 4 月 16 日(火)  | アクティ近江八幡 | 事業計画・予算案検討 |
| 2019 年 5 月 21 日(火)  | アクティ近江八幡 | 事業計画・予算案検討 |
| 2019 年 7 月 16 日(火)  | アクティ近江八幡 | 事業報告・課題検討  |
| 2019 年 9 月 17 日(火)  | アクティ近江八幡 | 事業報告・課題検討  |
| 2019 年 11 月 19 日(火) | アクティ近江八幡 | 事業報告・課題検討  |

2020年 1月21日(火) アクティ近江八幡 事業計画・予算案検討  
2020年 2月18日(火) アクティ近江八幡 事業計画・予算案検討  
2020年 3月24日(火) アクティ近江八幡 事業計画・予算案検討

・三役会の開催

2. 会員の入退会等会員管理
3. 内外公文書管理
4. 会計財務管理
5. 求人・求職情報管理(福利部)
6. 各種、関連団体等との情報交換
7. 会員への各種情報連絡
8. 事務局の業務簡素化に向けた検討
9. 協会の会員管理システムを活用した事務局運営の検討
10. 会員間交流の促進(福利部)

・新入会員歓迎会

日時：2019年6月2日(日) 場所：近江八幡市内予定

内容：総会後の新入会員紹介と既会員との交流・情報交換の場の提供

11. その他事務管理業務

### 選挙管理委員会

1. 役員改選管理業務

### 災害対策委員会

- ①滋賀県 JRAT 研修会の企画・運営への参画 災害医療中級編の担当(2019年1月頃)予定
- ②JIMTEF 研修会への県士会員の派遣調整(2名)
- ③滋賀県作業療法士会災害対策マニュアル作成に向けた取り組み
- ④近畿作業療法士会連絡協議会 災害支援対策事業会議等の出席

### 表彰委員会

1. 一般社団法人日本作業療法士会及び、県内外よりの表彰推薦依頼への対応と検討。

### 倫理委員会

1. 会員の倫理問題に関する対応

### 規約委員会

1. 規約の整備

## 公益目的事業部門

### 広報部

昨年時より、広報誌は年一回9月の発行のみとし、ホームページとフェイスブック等を活用した情報発信の円滑な運営のための活動を今年度も実践していく。今年度も各部局に広報担当を配置していただき、タイムリーな情報発信の依頼を継続、HP委託業者との会議などHP並びにフェイスブックについての円滑な運営の為、会議を開催する。

1. 広報誌『湖畔』発行：

(1)回数

・年1回発行(9月)

(2)内容

・新入会員紹介、総会報告、理事会報告、勉強会・研修会報告と案内、巻頭言(会員番号順に依頼)、つばやき、編集後記、会員異動変更届、地域活動局活動報告 等

(3)送付

・県士会員、関連団体、他府県士会、養成校

2. 広報誌保管

・(社)滋賀県士会広報誌湖畔の原稿・印刷余分を保管

・他団体広報誌の保管

3. ホームページ等

・研修案内など随時内容の管理・更新について、各部局に広報委員の設置を依頼しフェイスブックなど活用したタイムリーな情報発信。

・ホームページ携帯版画面の導入を検討。

#### 4. その他

- ・他府県士会、関連団体からの会報の紹介、閲覧(滋賀県作業療法総会・滋賀県作業療法学会時)
- ・部会の開催
- ・OT マップの更新
- ・発送作業

### 学術教育局

#### 1. 身障老年期分野普及部

##### (1) 研修会

###### ①福祉用具部門

- ・今年度、研修会活動は一時休止。
- ・福祉用具相談支援システム啓発は継続していく。

###### ②ハンドセラピー部門

###### <研修会テーマ>

- ・未定:アンケートを基に内容の検討と運用方法を検討。
- ・昨年同様、基礎と応用研修会の2回を企画。

###### ③CVA(上肢機能、高次脳機能)部門

###### <研修会テーマ>

- ・高次脳機能障害の治療について
- ・上肢機能の治療について など 年2～3回程度企画

#### 2. 小児期分野普及部

##### (1) 研修会

例年通り年度内2回を開催予定。講師・日程等詳細は未定。

##### (2) 情報交換会：6月中に開催予定。

#### 3. 精神分野普及部

##### (1) 研修会

##### (2) 勉強会：基本的には、事例検討を中心に行う。場所は未定。

- 第1回 4月9日(火)19:00～、第2回 5月14日(火)19:00～、第3回 7月9日(火)19:00～  
第4回 8月13日(火)19:00～、第5回 9月10日(火)19:00～、第6回 10月8日(火)19:00～  
第7回 11月12日(火)19:00～、第8回 12月10日(火)19:00～、第9回 1月14日(火)19:00～  
テーマ：未定 日時：未定 場所：未定

#### 4. 生涯教育部

##### (1) 基礎コースに関する運営

###### ①基礎コースポイント押印作業

- ・年2回(2019年9月8日・2020年1月12日)

郵送によるポイント押印作業の実施。基本的に今年度のSIG研修会を対象とする。

###### ②基礎コースポイントの管理

- ・システムによる管理を継続。

##### (2) 現職者共通研修の開催

講師・場所共に未定(共通研修 計10テーマを予定)

###### ① 2019年9月8日(日)

「作業療法生涯教育概論」「作業療法における協業・後輩育成」「職業倫理」「保健・医療・福祉と地域支援」

###### ② 2019年11月10日(日)

「実践のための作業療法研究(旧：エビデンスと作業療法実践)」「作業療法の可能性」「日本と世界の作業療法の動向」「事例報告と事例研究(旧：事例検討方法論)」

###### ③ 2020年1月12日(日)

「事例検討」、「事例報告」

(3) 現職者選択研修

① 2019年12月15日(日) 身体障害領域

※MTDLP 基礎研修は公益事業部と共同実施 2019年8月初旬を予定

(4) 生涯教育コンピューターシステムにおける伝達講習

場所・日時：未定

※各研修会を企画および開催する部署の責任者

5. 第15回滋賀県作業療法学会の開催(2019年11月3日開催予定)

学会長：本田 慎一郎(有限会社 青い鳥コミュニティー)

場 所：NIPRO(ニプロ：南草津) 予定

テーマ：「患者(利用者)にとって学習とは」

6. 第16回滋賀県作業療法学会の準備 (2021年開催予定)

## 特設委員会

### 1. MTDLP 推進委員会

(1) MTDLP の推進に係る取り組み

① 基礎研修：生涯教育部と共催 1回/年

② 実践者研修：地域活動局と共催 (公益収支報告)1回 各圏域/年

③ 近畿連絡協議会：要請に応じて会議・研修会運営参加

④ 指導者不足に向けた取り組み

⑤ 全国 MTDLP 推進会議への出席(3名参加予定)

### 2. 認知症対策委員会

(1) 認知症に係る取り組み

① 認知症アップデート研修 2回/年

② 事例 GP の集積

③ 行政、他機関との連携

・認知症の人と家族の会との連携(認知症カフェへの協力など)検討

・士会員の協力人材の派遣

④ 認知症対策作業部会 定例会議

⑤ 近畿連絡協議会主催研修会の運営支援、情報共有

⑥ 教育部への事業移行のための取り組み

### 3. 地域包括ケア推進委員会

(1) 地域包括ケア推進に係る取り組み

① POS 地域包括ケア推進委員会議の出席

② 三士会県委託事業(圏域地域リハビリテーション支援事業)への協力 \*地域活動局と協働

・PT 士会、ST 士会と協働で、市町行政事業からの依頼に応えられる人・派遣の体制づくり、実績集積を推進

③ 地域包括ケアに資する OT 像の検討

### 4. 運転対策委員会

(1) 運転対策に係る取り組み

① 運転と作業療法特設委員会による研修会の開催

1回開催予定。教習所、警察署との合同研修会

② 滋賀県自動車運転支援連絡協議会への参加

2019年に第一回「滋賀県自動車運転支援連絡協議会」開催目標

滋賀県自動車運転支援に関わる関係者(医師、滋賀県 OT 士会、滋賀県警、免許センター、滋賀県教習所協会、

自動車改造業者、滋賀県社会就労振興センターなど)

パンフレット・リーフレットの配布

連携に関する事例検討会等

各圏域の教習所との連携を強化し、実車評価が可能な教習所を増やしていく。

## 5. 訪問リハビリ推進委員会

- (1) 滋賀県訪問リハビリテーション実務者研修会の開催  
三士会県委託事業(圏域地域リハビリテーション支援事業)への協力と協働

## 6. 福祉用具対策委員会

- (1) 日本作業療法士協会の福祉用具対策委員会への協力
- (2) バリアフリー展への協力

## 公益社会局

### 1. 情報の収集および提供

- ① (一社)日本作業療法士協会(以下、協会)やその他機関や団体などから提供される情報を集約し広報誌「湖畔」やホームページなどを利用して会員に情報提供する。
- ② 会員からの問い合わせに対応する。
- ③ インターネット、その他を利用して情報収集する。
- ④ 平成32年度報酬改定に関する研修会への参加

### 2. 現状の把握および調整

- ① 各種制度改正に伴う現状把握と協会などに提言を行う必要があれば会員に対して実態調査を実施する。
- ② 協会や県などから依頼された調査の実施と集約を行う。

### 3. その他

- ① 医療保険制度改正等、に関する新規情報の伝達
- ② ホームページに掲載
- ③ 近畿作業療法士連絡協議会関連  
「バリアフリー展 2019」相談コーナーの相談員として当士会から会員を派遣。

### 4. 当士会他部局および他団体との連携・調整

- ① 広報部等と連携した作業療法啓発に関する企画についての検討

## 地域活動局

今年度より地域活動局は7圏域(大津、湖西、湖南、甲賀、東近江、湖東、湖北)に支部長を1名配置すると共に、さらに4圏域(大津・湖西)(湖南・甲賀)(東近江)(湖東・湖北)に分けて理事を配置する事とした。

### 地域活動局 理事の役割

- ①各圏域の定例会議への参加(状況把握・アドバイザーとして)
- ②各圏域からの課題の抽出
- ③理事会への参加と各圏域からの状況報告
- ④支部長と共に各圏域の部員の把握と整理(POS連絡協議会 名簿作成担当との協力・名簿作成)
- ⑤各支部長や部員へ活動に関するアドバイス
- ⑥合同圏域での合同開催事業による事業効率化

地域活動局支部での活動目的として、以下の5点を地域包括ケアの推進を念頭に、各支部にて事業を進める。

- 1) 地域に必要な作業療法士の把握と育成
  - ・MTDLP実践者の普及(事例検討会は理事配置された4圏域で開催(仮))
  - ・各支部地域包括ケア窓口係と連携し、各支部の特性に合わせた地域や行政で必要とされる人材の確保
  - ・各支部の実情に合わせた研修会の開催(その地域の資源について、認知症初期集中支援に向けた準備など)
- 2) 多職種、他団体との連携の強化(他職種との交流会の企画、市町との合同研修会)
- 3) OT啓発活動(子供から大人まで市民に対して仕事紹介、就職説明会、ブース出展、パンフレット配布など)
- 4) 地域のOT同士の交流と連携(交流会の企画)・定例会議(年4回)・定例会(各支部の会員に対して)
- 5) 三士会県委託事業(圏域地域リハビリテーション支援事業)への協力

### 1. 支部活動

#### (1) 甲賀支部

- ① 定例会議(2ヶ月に一回開催予定)

- ② 生活行為向上マネジメント事例検討会：2019年10月予定
  - ③ 三士会県委託事業(圏域地域リハビリテーション支援事業)への協力
    - ・POS連絡協議会甲賀ブロック会議との連携
  - ④ 社会資源マップの作成
  - ⑤ 甲賀、甲南、水口病院の病院フェスタでの作業療法の啓発
  - ⑥ 甲賀圏域交流会の開催
- (2) 大津支部
- ① 定例会議：計6回ほど
  - ② 大津市主催ほかまか祭りブース参加：12月第1週の予定
  - ③ 生活行為向上マネジメント事例発表会
- (3) 湖西支部
- ① 地域に必要な作業療法士の育成
    - (他職種連携ケア会議への参画や行政および保険所からの依頼を各地域のOTで受られるような体制作り)
  - ② 他職種・他団体との連携強化
    - (高島市リハビリ連携協議会への協力・支援)
  - ③ OT啓発活動(高島市民病院祭り、リハビリ祭り参加予定)
  - ④ 地域のOT同士の交流と連携
- (4) 湖北支部
- ① 湖北地域OTの集い
  - ② いきいき健康フェスティバル2019ブース出展(5月)
  - ③ MTDLP基礎研修もしくは実践者研修(計画中)
  - ④ 三士会県委託事業(圏域地域リハビリテーション支援事業)への協力
    - ・POS湖北ブロック合同研修会の開催
  - ⑤ 災害対策委員会への協力
- (5) 湖東支部
- ① リハ職の地域をつなぐバトン事業 彦根市医療福祉推進課と共催
  - ② 看護の日啓発活動：彦根中央病院 豊郷病院
  - ③ ふれあい祭り啓発活動：彦根市立病院
  - ④ 三士会県委託事業(圏域地域リハビリテーション支援事業)への協力、研修会(年二回)
  - ⑤ MTDLP事例検討会
  - ⑥ 湖東支部 研修会(11月)
- (6) 東近江支部
- ① 「作業療法のいざない」に向けたOT研修
  - ② 作業療法へのいざない：小中高校生、市民他を対象に企画
    - 日時：2019年8月 会場：能登川博物館 講演も予定。
  - ③ 東近江リハビリテーション風船バレーボール大会開催(10月)
  - ④ 勉強会：東近江実践OT倶楽部の開催
  - ⑤ 三士会県委託事業(圏域地域リハビリテーション支援事業)への協力
    - ・東近江三士会会議定期開催と合同事業の開催
  - ⑥ MTDLP事例検討会(2回)
  - ⑦ 研修会開催 2019年6月16日「プール活動レベル(PAL)研修会」
    - 京都大学 小川真寛氏
  - ⑧ その他 東近江圏域における事業所や施設、作業所でのOT啓発活動(予定)
- (7) 湖南支部
- ① 作業療法啓発のための研修予定
  - ② 滋賀県OT学会への協力
  - ③ MTDLP事例検討会
  - ④ 認知症初期集中支援チーム 研修(必要性に応じて検討)

⑤ 各事業分担のための会議

(8) その他

① 啓発グッズの作成(クリアファイル、Tシャツ作成、その他啓発グッズ作成予定)

② 支部長会議の開催(年間3回予定：5月・9月・1月)

③ その他滋賀県全域からの事業に対して作業療法ブースの出展

第5号議案 2019年度事業計画および予算案

2019年度予算案

| 勘定科目                |             | 2019年度予算額        | 備 考                     |
|---------------------|-------------|------------------|-------------------------|
| 大科目                 | 小科目         |                  |                         |
| <b>1. 事業活動運用収入</b>  |             |                  |                         |
| 会 費 収 入             |             | ( 2,700,000 )    | 6000円×450名              |
| 入 会 金 収 入           |             | ( 30,000 )       | 1000円×30名               |
|                     |             | ( 728,000 )      |                         |
| 事 業 収 入             | 生涯教育部研修収入   | 200,000          | 事業計画に沿った研修参加費           |
|                     | 精神分野研修収入    | 20,000           | 事業計画に沿った研修会参加費          |
|                     | 小児期分野研修収入   | 128,000          | 事業計画に沿った研修会参加費・総会時研修参加費 |
|                     | 身障老年期分野研修収入 | 80,000           | 事業計画に沿った研修会参加費          |
|                     | 公益事業局       | 150,000          | 事業計画に沿った研修会参加費          |
|                     | 滋賀県学会収入     | 150,000          | 80名                     |
| <b>事業活動収入合計 (A)</b> |             | <b>3,458,000</b> |                         |

| 勘定科目                            |               | 2019年度予算額          | 備 考   |
|---------------------------------|---------------|--------------------|---|
| 中科目                             |               |                    |   |
| <b>2. 事業活動運用支出</b>              |               |                    |   |
| <b>(1) 法人管理運用部門</b>             |               | ( 2,072,000 )      |   |
| 法人庶務支出                          |               | 2,062,000          | 旅費交通費13万、会議費11万、通信費18万、交際費47000、貸借費10万、消耗品費2万、租税公課13万、近畿学会拠出金36万、税理士諸費用17万、印刷製本費10万、講師謝金20万、保険料19000、福利厚生45000、宣伝広告費15000 振込代行サービス35万 災害対策委員活動費 86000 |
| 規約委員会                           |               | 2,000              | 理事会会場利用・参加者交通費  |
| 選挙管理委員会                         |               | 2,000              | 理事会会場利用・参加者交通費  |
| 表彰委員会                           |               | 2,000              | 理事会会場利用・参加者交通費  |
| 災害対策委員会                         |               | 2,000              | 理事会会場利用・参加者交通費  |
| 倫理委員会                           |               | 2,000              | 理事会会場利用・参加者交通費  |
| <b>(2) 事業費支出</b>                |               | ( 2,415,700 )      |   |
| 広報部活動費                          |               | 345,000            | 会議費1万、旅費交通費45000、通信費9万、ホームページプロバイター14万、印刷製本費6万  |
| 学術教育局活動費                        |               | 876,000            | 会議、旅費交通費、研修会等事業費他   |
|                                 | 身障老年分野        | 30,000             | 県外講師謝金費用は、事務局にて精算   |
|                                 | 精神分野          | 98,000             | 県外講師謝金費用は、事務局にて精算   |
|                                 | 小児期分野         | 150,000            | 県外講師謝金費用は、事務局にて精算   |
|                                 | 生涯教育制度        | 183,000            | 県外講師謝金費用は、事務局にて精算   |
|                                 | 庶務            | 55,000             | 会議費、交通費等  |
|                                 | 第15回滋賀県作業療法学会 | 360,000            |   |
| 特設委員会活動費                        |               | 628,500            | 認知症34万 MTDLP19万 運転57000 訪問リハ42000   |
| 公益社会局活動費                        |               | 154,700            | 診療報酬関係研修会参加、会議費、交通費等  |
| 地域活動局活動費                        |               | 411,500            | 庶務12000、研修20000、観光20000、学費20000、大連20000、東証250000、読書10000、その他会議費41500、研修グッズ20000   |
| <b>事業活動支出計 (B)</b>              |               | <b>4,487,700</b>   |   |
| <b>事業活動収支差額 (C) = (A) - (B)</b> |               | <b>△ 1,029,700</b> |   |

| 勘定科目                            |  | 2019年度予算額          | 備 考                     |
|---------------------------------|--|--------------------|-------------------------|
| 中科目                             |  |                    |                         |
| <b>当期収支差額 (D) = (C)</b>         |  | <b>△ 1,029,700</b> |                         |
| <b>前期繰越収支差額 (E)</b>             |  | <b>2,130,886</b>   |                         |
| <b>次期繰越収支差額 (F) = (D) + (E)</b> |  | <b>1,101,186</b>   |                         |
| <b>法人税、住民税及び事業税 (G)</b>         |  | <b>50,000</b>      |                         |
| <b>次年度繰越 (F) - (G)</b>          |  | <b>1,051,186</b>   | 次年度当初事業及び、次年度新規事業準備金として |